

教員養成フラッグシップ大学の目的と役割について（たたき台）

1. 背景

- AI やロボティクス、ビッグデータ、IoT といった技術の急速な発展に伴い、Society5.0 と呼ばれる新しい社会が到来。
- 教育において、一人一人の能力等に応じて公正に個別最適化された学びや、場所や時間に制約されずに主体的に学び続けることができる環境が実現。
- このような変化に伴い、教師に求められる役割や資質・能力も変化し、例えば、ICT 活用を前提に、問題発見・解決的な学びを支援する力、様々な人たちと協働する力、マネジメント力、ファシリテーション力などがより重要に。
- 社会の変化や技術の急速な進展を踏まえた教師の養成・採用・研修の強化及び外部人材の活用の推進が喫緊の課題。

2. 大学における教員養成等の現状と課題

- 課程認定基準により教員組織やカリキュラムの最低レベルは示されているが、最高レベルや好事例が十分に追求されていない。
- 新しい学習指導要領に対応した改善は行われているが、最先端の技術を活用した新しい学校教育や教員養成の在り方の提案、産業界等との連携による外部人材の大胆な活用等には十分に対応できていない。
- 大学間及び文部科学省・教育委員会や国立の教育研究機関等との連携・協働が不十分。
- 現状の大学のスタッフや組織体制・運営では多様性や柔軟性に乏しい。
- 教員養成等を大学が自律的に改善していく評価等の仕組みが不十分。
- 将来的な学生数や教員需要の減も見据えつつ、機能強化を図るため、複数の大学の人的・物的リソースを共有することが必要。

3. 教員養成フラッグシップ大学の目的と役割

- (1) 我が国の新しい教育を創造する研究開発大学
 - 産業界、各種教育機関、附属学校等と連携した先進的・先導的な実践研究。
 - 既存の制度の特例や弾力化も視野に入れた研究開発を行い、次世代の学校教育や教員養成の在り方を積極的に提案。
- (2) 我が国の教員養成ネットワークの拠点となるハブ大学
 - 課程認定大学間や教員養成大学間のプラットフォーム。
 - 産業界との連携を広める産官学協働のプラットフォーム。
 - 学校教育や教員養成に関する我が国のプレゼンスの向上（国際展開）。
- (3) 我が国の教員養成全体を支える基幹大学
 - 国や地方と連携して、教員養成の課題や成果を全国的に収集・展開。
 - コアカリキュラムや評価基準などの策定と実施を牽引。
 - 教員養成課程を担う大学教員の養成・育成機能（博士課程等）を強化。